

事務事業名 県道整備関連事業		所属部 建設部	所属課 都市計画課	
総合計画体系	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G 国県事業G	課長名 小村 利之	
	施策名 (13)広域幹線道路の整備	担当者名 吾郷 雄一	電話番号 0854-40-1064 (内線) 2462	
	目的 対 道路(国道・県道、高速道路)利用者 意 図 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動できる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 国道・県道整備事業	0 1 4 0 0 8	
	基本事業名 (038)県道の整備促進	項目 中事業 中事業名 県道整備関連事業	1 0 1 5 0 3	
目的 対 道路利用者 意 図 安全で便利に県道を利用する。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 30 年度～ R1 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
島根県が施行する都市計画道路新庄飯田線整備工事(雲南市大東町大東地内)、主要地方道出雲三刀屋線改良工事に関連して、市道新庄温泉線、大東町上み支線及び伊萱1号線の県道取り付けを改良するものである。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 市道伊萱1号線 舗装工事:L=408m 市道新庄温泉線 用地買収:329㎡ 市道大東町上み支線 用地買収:55㎡	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 市道新庄温泉線改良工事 市道大東町上み支線改良工事				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 整備延長	m			409	91
	イ 供用延長	m			409	91
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	市道及び市道利用者	ア 整備計画延長	m			500	500
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%			82.0	100.0
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
伊萱1号線 工事費 12,106千円 新庄温泉線・大東町上み支線 用地費 8,731千円 補償費 4,813千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円			24,300	9,800
	事業費計(A)	千円			25,650	10,400
	正規職員従事人数	人			2	
	延べ業務時間	時間			40	
	人件費計(B)	千円			173	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			25,823	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
都市計画道路、主要地方道路整備の進捗に合わせて、取付市道整備の必要性が高まっている。	島根県と同時施工することにより、通行規制期間の短縮や交通誘導員の減員、施工の効率化を図っている。	県道、関連市道を安全に通行できる道路網の整備促進

事務事業名	県道整備関連事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	地理的な条件および県道整備との調整により向上の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	県道整備と連携して行うため、整備効果に影響がる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	工事発注、監督及び用地交渉については必要最小限の業務で行っており、削減、外部委託できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
令和元年度で事業完了予定	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			